

平成23年度科学・技術関係予算についての
第一線の若手研究者からの意見募集結果
(24019：数学・数理科学と他分野の連携拠点形成支援プログラム)

ご意見の概要	件数
このまま推進すべき	0件
改善・見直しをした上で推進すべき	2件
推進すべきではない	0件
その他	0件
合計	2件

【主なご意見】

数学・数理科学者と産業界・諸科学研究者とが議論を行い連携を図って課題を解決するためには連携拠点が必要である。大学や研究機関等におけるワークショップ等を活発にし、研究テーマの設定から実施につなげるべきである。

数学・数理科学が他分野に内在する数学的構造の発見を通じて社会・諸科学の根本的構造の改善に繋がるとの認識は次第に高まりつつあり、連携を強化する「場」の形成はまさに時宜に適っている。

達成目標は大変良い。しかし、施策の目的および開発目標は物足りない。27年度までにワークショップへの参加を大幅に増やすとしているが、ワークショップへの参加を増やすことが目的化されている。遅くとも27年度までには（可能なら23年度から）全国に複数の連携拠点を作り、早く軌道に乗せるべきだ。「施策の重要性」の項目に書かれた認識は的を射ているだけに残念だ。もっと思い切った施策が必要だ。数学連携拠点作りに必要な予算は、他の科学技術予算に比較して少なくてすむ。拠点を立ち上げて、他に比較して対費用効果は格段に大きいにも関わらず、23年度がワークショップ開催支援のみとはあまりにも情けない。